

令和7年11月11日

苦 情 申 立 書

支出負担行為担当官

九州農政局長

緒方 和之 殿

住所 福岡県福岡市中央区薬院一丁目14番5号

申立者 商号又は名称 西松建設株式会社 九州支社

代表者氏名 執行役員支社長 高橋



拝啓 貴省ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、下記工事において当社は評価値が最も高い結果を得たにもかかわらず、落札者に選定されなかったことについて、以下の通り苦情の申し立てをいたします。

記

1. 申立の入札及び契約案件名

喜界島農業水利事業 喜界第2地下ダム南堤止水壁（その2）建設工事

2. 苦情のある事項及び苦情の根拠となる事項

当社は、当該工事の入札説明書に記載された「落札者の決定方法」に従い、最も高い評価値を獲得したと認識しており、当社が落札者となるべきと考えます。

・ 当社の評価値： $180 \text{ 点} / 1,073,888,000 \text{ 円} \times 100,000,000 \text{ 円} = 16.76152$

・ 落札者の評価値： $180 \text{ 点} / 1,073,900,000 \text{ 円} \times 100,000,000 \text{ 円} = 16.76133$

・ 入札説明書 6（3）落札者の決定方法

ア 入札参加者の「評価値」の最も高い者を落札者とする。

評価値 = {標準点 + 施工体制評価点 + 加算点} / 入札価格

しかし、今回は入札説明書に記載されていない評価値の算出方法（評価値は小数点第4位以下を切り捨て、小数点第3位までとする。）が適用され、両者の評価値が同一（16.761）となりました。その結果、「評価値の最も高い者が2人以上ある場合は、くじにより決定する」という規定が適用され、当社より評価値の低い会社が落札者に選定されております。

3. 要望事項

・ 落札者選定に至った理由の詳細な説明

（評価値について小数点第4位以下を切り捨てて落札者を決定する根拠規定等）

・ 当該入札結果の再検討

当社は、貴省の入札制度の透明性と公正性を尊重しております。本件について、誤解や不明点を解消し、今後も円滑な関係を維持するためにも、誠意あるご対応をお願い申し上げます。

敬具